

令和4年5月15日(日)

花まつり

白象に健康を願い
お釈迦様のお誕生日を
お祝いしましょう!

午後12時30分～【御法話 12時30分～
法要 13時30分～】



御法話

TV朝日系列お坊さんバラエティ「ぶっちゃけ寺」などテレビ、雑誌、講演などで活躍中。また民俗学や日本人の思想にも造詣が深い。

千葉県宝林寺御住職 **千葉公慈**

時節柄、お食事を用意しておりません。※お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。
お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。
・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
・ご来場の際はマスクを着用してください。
・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

令和4年4月号

道のしるべ

宮の森 大乘院

令和四年
春号

大乘院寺報 令和4年4月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第87号

心を

さくら吹雪に...

住職 田中清元

北の大地に、さくら満開の季節がやって来ました。
可憐な淡いピンクの花びらが咲き乱れ、新緑の中では息を呑む美しさ。ましてや青空を背景に、薫風に舞うさくら吹雪は至高の美観です。「日本の美」を象徴すると云ってよいだろう。

まさに春到来。日本人は、この景色を代表する風物詩と捉えてきた。厳冬から解放され、「さあ、これから」勇氣と希望の契機でもあるのでしよう。

そればかりではない。昔は、天災、戦争、疫病などが襲ってきた。しかし、さくらの季節だけは、苦難を忘れ、ひたすら愛で、やすらぎに浸り、花見酒に酔った。沖繩からカラフトまで、全ての日本人が恩恵を受けるさくら花。こんな花木は世界にはないでしょう。「日本の国花」たる由縁でもあります。

日本中が新型コロナウイルスに苦しんだ。防疫や看病に悩み、時に愛する人との別れも。商売の危機、思い通りにいかない人生、狂った人々人間関係。不安、怯えどころか恐怖ですらあった。昔の日本人が辿った経験でもあるのでしよう。

しかし、自然の流れは山と谷の繰り返し。苦あれば楽もありである。あれほど恐怖を振るつた新型コロナウイルスだが、感染者数は多いものの、死者、重症者が減り、変異を重ねる度にインフルエンザ型に移行し、感染者も

圧倒的に無症状となっている。
世の中全体も、少しずつ動き出した。「コロナとの共生」が、今や世界の常識。日本より深刻な国々が防疫の完全開放に踏み出している。日本もまた、この傾向になるのでしよう。
そんな時にさくらの季節を迎えた。さくらの花の命は極めて短く、古くから、それは多くの先人が節目や転換期にたとえてきた。
いざ子ども 山べにゆかむ 桜見に
明日ともいはば 散りもこそすめ (良寛)
いまこの時、先人に倣うのもよい。さくら吹雪に身を委ね、浮世の悩みを忘れて、しばしの安らぎと憩いを。そして、散るさくらにストレスをまかせ、ここから脱コロナへの心構えを持つ。「さあ、これからだ」と。
因みに、大乘院にはさくらの若木五、六本が開花している。その姿は、新型コロナや不況とは無縁。しっかりと根を下ろし、確実に生育し、今年一段と開花が増している。まさに不動。さくら花とともに自然が私たちに贈る恵みと教訓である。
さくらの花言葉は「精神の美」「私を忘れないうで」 合掌
いつかは桜花で囲みたい。



※法要当日は境内地にてお焚き上げ供養をします。古いお守りやお札をお持ち下さい(金属、プラスチック、生もの等不可)

活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

子ども空手教室

心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺



3年連続全道大会優勝。共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。

坐禅会

体と心を調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料



忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

ご詠歌

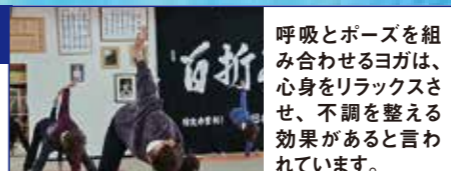
仲良く楽しく
唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり



ご詠歌を聞かれた事がありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

ヨガ教室

心と体と向き合しましょう



呼吸とポーズを組み合わせるヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があるとされています。

スキー少年団

心と頭と感性を磨きましょう



お寺では、住職の長女・亜実さんがお手伝いしているアルペンスキー少年団の指導も行っており、心と身体と感性を一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

編集後記

自覚と覚悟

事に臨んでいざと言う時、うろたえることも慌てることもせず、日頃の覚悟のほどを示し決然と悠揚として事にあたることは、至難のこと。よく考えて見ると、御住職や檀家の皆様、佛心塾の生徒から、日々の生活の中でその覚悟のほどを問われている。これを自問自答するのは、その人の心がけの一つなのでしょう。昨今の社会の情勢は、世界の動きとともに寸刻の油断もならない。3月、薬王寺道場の佛心塾の卒業式が行われた。空手を通じて相手を思いやる心や仲間を支える強さなどを経験し、感謝の気持ちをお忘れな大人になれる様、心と体・技を鍛錬し、卒業を迎えた。そしてもう一つ。3名の佛心塾生が全道を勝ち抜き、北海道代表選手となり、京都の全国大会に出場した。数々の強豪選手が集まる中、全員が一回戦を勝ち抜き、一人が5回戦まで進み、同点だが惜しくも判定負けという結果となった。その相手は優勝したのだ。日本の道はそう遠くないと確信した。
3名の卒業生達、仲間達、そして自分自身に「覚悟はできているか」と日々精進しています。
院代 慎龍 合掌

8月に年忌法事にあたる方へ
お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりませんが、お時間やご納骨についてはご相談させていただければと思います。また繰り上げの場合、例年七月に集中致しますので、お早めにご相談ください。

八月の法事に伺えない日

◎ 棚経期間
◎ お墓参り期間
◎ 法要の日
2013年 1日～16日

この日以外のご法事は、あらかじめ日時をご相談下さいませようようお願い申し上げます。
【ご相談下さい】
新型コロナウイルスの影響で、ご法事をしたくても出来ないという方は、どうぞお寺までご相談ください。

葬儀はお寺へ相談を!

最近では家族葬のように小規模な葬儀をされる方が増えておりますが、実際にかかる費用は決して安くありません。(お寺への葬儀に関するご相談も金額についてが多く寄せられております。)お寺では精神面はもちろん、金銭面でもお支え出来るお寺葬をご用意しております。ぜひ一度、お寺へご相談下さい。

宮の森 大乘院 薬王寺
TEL:011-641-8904 FAX:011-631-0004
Email:yakuou@triton.ocn.ne.jp

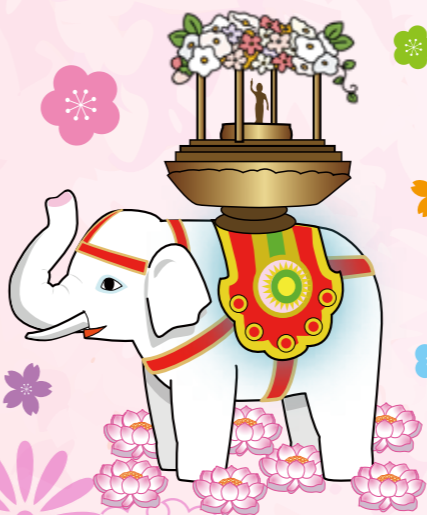
SOTO禅 ZEN × SDGs
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs」(エス・ディー・ジーズ)は「Sustainable Development Goals」(サステナブル<持続可能な>・ディベロップメント<開発>・ゴールズ<目標>)の頭文字を集めた言葉です。薬王寺では、SDGsの理念である「誰一人取り残さない社会の実現」を「菩薩の誓願に生きる信仰実践」として全僧侶でSDGsへの取り組みを力強く進めていきます。

仏事についてのご質問や、ご不明な点、いつでもお問い合わせください。(011)641-8904 <ご投稿・ご意見何でもお問い合わせください! Eメール yakuou@triton.ocn.ne.jp

花まつりとは

花まつりはお釈迦様の誕生をお祝いする行事で、灌仏会（かんぶつえ。仏生会、降誕会、浴仏会とも）と呼ばれています。「花まつり」の歴史は古く、奈良時代に書かれた日本の歴史書「日本書記」にその記述があり、606年（推古天皇14年）4月に催されたところ、日本で一番古い記録となっています。お寺の花御堂に、灌仏桶と呼ばれるたらいのような器を置いて甘茶で満たし、その中央に「誕生仏」を安置します。お釈迦様は生まれてすぐ、東西南北に向けてそれぞれ七歩ずつ歩き、右手は天を、左手は地を指さし「天上天下唯我独尊」と唱えたと言われています。生きとし生けるものは誰もがこの世にひとつの尊い存在である、といった意味です。



参拝者はこの誕生仏に甘茶をかけ、お釈迦様の誕生日を祝います。お釈迦が生まれた時に、天に9頭の龍があらわれ、甘い水を吐いてその水をお釈迦様の産湯に使用したと言いうのが由来になっています。花まつりに欠かせない「甘茶」は、アジサイ科のヤマアジサイの変種「小甘茶（こあまちゃ）」の葉から作られています。花祭りによく見かけるイベントに「稚児行列」があります。簡単に説明すると、伝統衣装で着飾った子どもたちが、花御堂を背負った「白い象」とともに町内を練り歩くものです。この白い象は、お釈迦様の生母である「摩耶夫人（まやふじん）＝マヤー」が、懐妊の直前に夢で見たとされる象に由来するものです。姿形は真っ白で6本の牙を持つ不思議な象というイメージです。象はインドでは神聖な生き物とされていますので、この白い象がお釈迦様をこの世に誕生させたとも考えられています。



御詠歌とは

お釈迦様のみ教え「仏法」を説いた詩や、お釈迦様やお祖師様のご功績を解説した詩に、親しみやすいメロディーをつけたものです。

□ずさんでいくうちに自然と心に残り、お祖師様の教えをわかりやすく理解して実践できるようになります。



薬王寺では令和4年春彼岸中日法要にて若奥様の田中衣麻さんとそのお姉さまの三浦真紀さんが加わり、和氣あいと研讀を積んでおります。初心者の方にも絶好の環境ですので、お友達を誘って気軽にお寺で御詠歌の雰囲気を感じるところからはじめてみませんか。興味をお持ちの方は是非お寺までお気軽にお問合せ下さい。

「御詠歌に参加して」

中道 公子



当地で雑貨商として五十余年、丁度同じ頃薬王寺様も西町から移転してのご縁

の中で奥様より「夜に御詠歌如何ですか」に友人二人誘いお寺関係の三人、計六名で週二度夜に教えて頂き、その後昼に成りました。実家が「神道」だった為お寺の事全て見るのも聞くのも初めて尽くして恥ずかしながらも、行つたきつかけは昼の息抜き、お喋り、休憩時のおやつと面白半分でした。

気がつけばあつという間の二十年、皆々様に助けられ永平寺、總持寺、最後は韓国旅行と楽しい素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。一抹の寂しさはありますが、年金、体力的にも無理と退く事になりました。素晴らしくまた立派な月一度の村上先生と奥様との教え、また楽しい仲間感謝のみです。スタートはこんないい加減の私でしたが御詠歌に行く度に心が洗われ素直な気持ちになりました。どうぞ皆様も一度きりの人生を御詠歌にチャレンジしてはいかがですか？

お寺のできごと

令和4年1月1日

除夜法要

毎年薬王寺では、御住職による大盤第一声で新年がはじまります。

マイナス13℃と厳しい冷え込みにも関わらずたくさんの方に大盤を突いて頂きました。



修証會

「修証會（しゅしょうえ）」新しい年の始まりにあたり最初に営まれる法要です。新しい一年間の世界平和や檀信徒皆様の厄災消除・仏法の興隆を祈ります。御住職のご導師のもと、修正會の御祈禱をお勤めいたしました。

令和4年2月11日

大般若祈禱會



令和4年2月11日 建国記念日のこの日、当山恒例の大般若大祈禱會を厳修いたしました。最初に釈尊涅槃會法要（正當は2月15日）をお勤めいたしました。六百巻の大般若

令和4年3月19日

佛心塾 卒業式



空手を通じて相手を思いやる心や仲間を支える強さなどを経験し、感謝の気持ちをお忘れのない大人になれる様、心と体・技を鍛錬する佛心塾では、薬王寺院代の橋坂先生に厳しく育てられた3名が卒業となりました。それぞれの道を歩む若く才能あふれる仲間、心からエールを送ります。

令和4年3月21日

春彼岸会 中日法要（お下げ）



春彼岸中日法要を御住職・導師により、お勤めいたしました。布施の心（六波羅蜜）について温かいお話を頂きました。中日の法要も今年は山内のみでお勤めし、檀信徒皆様の御先祖様の御供養を致しました。お墓や納骨壇のお供物のお下げは、婦人会や御詠歌講の皆様よりお手伝いのお申し出を頂きましたが、こちらも皆様の安全を考慮し山内のみで行いました。

令和4年3月11日

東日本大震災慰霊供養

東日本大震災より今年で11年となる本日3月11日、住職 田中清元老師のご導師により、東日本大震災慰霊法要を厳修しました。地震の発生の午後2時46分に黙禱を捧げ、犠牲者のご冥福をお祈りいたしました（新型コロナウイルス感染症対策として、本年も山内でのお勤めとなりました）



御詠歌さんに新しく副住職の奥様とお姉様加わりました



若経の転読によって、檀信徒皆様の所願成就を祈り、世界の平和を願う法要を新本堂にて涅槃會導師（住職）、お焚き上げ供養導師（住職）、大般若祈禱會導師（住職）多くの参詣者とお勤め致しました。日本維新の会の鈴木宗男参院議員にお越し頂きご縁のあるお話を頂きました。厚岸郡吉祥寺御住職齋藤章道老師にお説教を戴きました。笑いを交えた心温まるエピソードをお話いただき、最後に正しい合掌の所作を教わりました。

お寺でお手伝いいただける方を募集しています。



お寺の法要行事やお盆・春秋彼岸の御供物下げ、お掃除などをお手伝いをして下さる方々を募集しています。ご都合の良い時間だけでもかまいません。ご先祖様への御供養、自らの修練のため等、ご興味のある方は、お寺にご連絡お願い申し上げます。